

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-4	・高度情報化社会への対応

	課	係
主管課・係	総合政策課	広報情報係
関係課・係		

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①誰もが必要な情報を取得できる。 ②ICTの利活用による行政サービスの享受が可能となる。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①通信環境の整備。 ②高度情報化計画の策定。</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 携帯電話不通話地域カバー率(居住地域)</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>B 高度情報化計画の策定状況</td> <td>-</td> <td>未策定</td> <td>策定</td> <td>調査</td> <td>調査</td> <td>策定</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 携帯電話不通話地域カバー率(居住地域)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	B 高度情報化計画の策定状況	-	未策定	策定	調査	調査	策定	C							D						
	単位			令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																	
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																			
A 携帯電話不通話地域カバー率(居住地域)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																			
B 高度情報化計画の策定状況	-	未策定	策定	調査	調査	策定																																			
C																																									
D																																									
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	<p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>既に100%となっているためです。</td> <td>① 既に目標クリア</td> <td>既に100%となっているためです。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>パソコン操作の自動化(RPA)の研究を行ったほか、自治体DX(自治体のデジタル変革)の先進地調査を行いました。計画の策定には至りませんでした。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>国の動向や、町の状況に適合した計画策定のための調査を行います。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	既に100%となっているためです。	① 既に目標クリア	既に100%となっているためです。	B ④ 下回った	パソコン操作の自動化(RPA)の研究を行ったほか、自治体DX(自治体のデジタル変革)の先進地調査を行いました。計画の策定には至りませんでした。	③ 取組改善で達成可能	国の動向や、町の状況に適合した計画策定のための調査を行います。	C				D																							
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ③ ほぼ目標値どおり	既に100%となっているためです。	① 既に目標クリア	既に100%となっているためです。																																						
B ④ 下回った	パソコン操作の自動化(RPA)の研究を行ったほか、自治体DX(自治体のデジタル変革)の先進地調査を行いました。計画の策定には至りませんでした。	③ 取組改善で達成可能	国の動向や、町の状況に適合した計画策定のための調査を行います。																																						
C																																									
D																																									
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはありますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ITリーダーミーティングにおいて、IT技術に長ける若手職員を中心に議論を行いました。 ・登録制メールサービス運用のための整備を行いました。 ・コロナウイルス感染予防に対応し、テレビ会議システムを導入しました。 ・パソコン操作の自動化(RPA)の研究を行ったほか、自治体DX(自治体のデジタル変革)の先進地調査を行いました。 																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																																								

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <p>ITを利用した情報発信が強化されました。</p> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光ケーブルの耐久年数により敷設替が必要となった場合、多額の費用が発生します。 ・RPA導入には前段となる業務全般のたな卸しが必要となり、ひいては、自治体DX全般においても業務体系や将来的な組織の見直しも含めた変革が求められてくることが想定されます。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>IT化については、時間や距離、費用面での効率性の向上を目的としております。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>次の観点から、「人」を中心としたIT化の計画づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民間のデジタル格差の課題や、産業面での6次化、ブランド化、ストーリー性などの民間における情報関連分野の育成。 ・手続きや制度面でのわかりやすさや機器の操作のしやすさなどに配慮した行政サービスの向上。 ・費用対効果やセキュリティ、個人情報保護を前提とした行政内部におけるペーパーレス化。 <p>また、通信などのハード面での整備が前提となることから継続的な通信網の整備を進めます。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	地上デジタルテレビ放送改修事業補助金	総合政策課	目的	地理的な条件により地上デジタルテレビ放送が良好に受信できない地域の解消を図り住民生活を向上させます。		
			概要	視聴者が共同で組織する共聴組合等が行う整備事業に対し、必要な経費の一部を補助します。		
			成果	令和2年度は、改修計画のある共同受信組合はありませんでした。		
		広報情報係	問題	多くの共同受信組合が存在し、順次、整備を進める必要があります。		
			対策	①継続 長期修繕計画(ローテーション)を組み、計画的に事業を遂行します。		
			事業費	8,209	0	9,972
02	セキュリティ対策機器導入事業	総合政策課	目的	職員が使用するパソコン管理を正確・迅速に行い、USBメモリをはじめとした外部記録媒体を適正に管理します。		
			概要	パソコンの管理を正確・迅速に行い、外部記録媒体の適正な管理を図るため、導入したセキュリティ支援ソフトや関係機器をうまく活用し、セキュリティ対策の充実に努めます。		
			成果	情報漏洩や重大インシデントなどの事案の発生はなかった。		
		広報情報係	問題	新しい攻撃手法が日々開発され、恒常的な対応が必要となっています。		
			対策	①継続 セキュリティシステムの更新だけでなく、職員個々のモラル向上やスキルアップも必要であるため、抜き打ち訓練、eラーニングを活用するなど研修受講が必要です。		
			事業費	2,146	2,171	2,301
03	★ 中山峠携帯電話エリア整備事業	総合政策課	目的	携帯電話不感地域のエリア化を目的とします。		
			概要	国道352号中山峠携帯電話エリア整備事業です。		
			成果	携帯電話3キャリアとの連携により中山峠の不感地帯解消に向けた事業化されました。		
		広報情報係	問題	将来的な維持経費や整備のあり方など見直す必要があります。第5世代通信規格への対応も課題となります。		
			対策	①継続 今後、技術の発達や国の動向を注視しながら整備を進める必要があります。		
			事業費	0	3	68,329
04			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			10,355	2,174	80,602	22,337